



























冬野菜の生育状況と年末・年始の価格見通しについて（12月20日現在）  
（東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類	厳しい低温により生育遅延。
葉 茎 菜 類	厳しい低温により生育遅延。
果 菜 類	曇天の影響や気温の低下に伴い生育遅延。
土 物 類	収量は平年並。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年12月の 入荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			年 末	年 始
だ い こ ん	千 葉 (47%) 神 奈 川 (47%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
に ん じ ん	千 葉 (81%) 埼 玉 (8%)	生育期における天候不順の影響で品質低下はあるものの、 <u>前半は、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 後半は、厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
は く さ い	茨 城 (95%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		

キャベツ	愛知(45%) 千葉(32%)	厳しい低温により生育が遅れて小玉傾向になっているものや、結球が遅れて収穫できないものもあることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
ほうれんそう	群馬(41%) 千葉(21%)	降雨の影響等により播種が遅れたことに加え、厳しい低温により生育が遅れていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
ねぎ	千葉(23%) 茨城(17%)	厳しい低温により生育が遅れているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> ただし、今後、気温がさらに低下し、鍋需要等が増加すれば価格が上昇する可能性。		
レタス	静岡(31%) 兵庫(19%)	厳しい低温により生育が遅れていることに加え、兵庫県等において10月中旬の多雨で根痛みとなって生育が不良になっていることから、 <u>出荷数量は平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
きゅうり	宮崎(39%) 千葉(19%)	気温の低下に伴い生育が緩慢になっているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
なす	高知(56%) 福岡(22%)	気温の低下に伴い生育が緩慢になっているものの、 <u>前半は、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 後半は、気温の低下に加え、曇天の影響により着果数が落ちていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		

トマト	熊本(43%) 愛知(21%)	気温の低下に加え曇天の影響で、着色遅れや小玉傾向になっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。		
ピーマン	茨城(35%) 宮崎(21%)	気温の低下に伴い生育が緩慢になっているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		
ばれいしょ	北海道(83%) 長崎(17%)	北海道において収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。		
さといも	埼玉(52%) 千葉(22%)	生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		
たまねぎ	北海道(87%)	北海道において収量は平年並であるが、海外からの輸入が続いており、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。 ただし、今後、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並になる見込み。	